



牧中だより

平成29年9月7日

高岡市立牧野中学校

第4号

校長室のとびら

— 小中連携！9年間を見越した教育を！ —



夏休みが終わり、学校生活が最も充実する二学期に入りました。生徒諸君には学習や部活動、そして合唱コンクール、学習発表会の準備にしっかりと取り組ませていきたいと考えています。

さて、今回から牧中だよりの巻頭言として、「校長室のとびら」を掲載させていただきます。校長としての思いや願い、学校の経営方針等を直球で発信していきます。是非、ご意見をお寄せください。

今回は「校長室のとびら」の初回ということで、私の自己紹介を含めた内容にします。私はこれまで教師生活の大半を中学校で勤務してきました。中でも、富山大学附属中学校に15年間勤務しました。国立大学の附属中学校というのは授業研究で県内の先導的な役割を期待されている存在であるにもかかわらず、私は研究よりも部活動指導に没頭していました。ソフトテニス部を指導し、県選手権大会につながる富山市の大会で団体10連覇を達成するといった、常識を越えた部活動を行っていました。周囲からは「鬼のように厳しい監督」として認識されていましたが、内情は部員たちとはフレンドリーな関係だったと思っています。そんな私が校長となり、思ってもいなかった小学校に赴任することになりました。射水市立堀岡小学校、高岡市立西条小学校での5年間、「校長先生～！」私の顔を見ると手を振って駆け寄ってきてくれる子供たちに囲まれて楽しく過ごしてきました。小学生は1年生から6年生にかけて、体が著しく成長し、少しずつ自分のことが周囲の手助けなくできるようになっていきます。そして、中学校の3年間で心も大きく成長し、本気で自立を意識するようになるのです。

ところが、中1ギャップという言葉が存在する通り、中学校に進学した段階で多くの子供たちが違和感を感じてしまいます。教科ごとの専科教師による授業、部活動での先輩との人間関係など小学校との違いが指摘されることが多いのですが、その本質はむしろ依存から自立への切り替えにあると思います。中学校では大人として自立していくための厳しい規律が求められ、教師も生徒たちを大人として接しています。突然の「大人扱い」への不安が中1ギャップの本質なのです。

そこで、小学校での勤務経験を生かし、牧野小学校との連携を強化していきます。まずは、学習のスムーズな接続を意識して、8月から小中合同の授業研修会を実施しています。義務教育の9年間を見越して、小学校と力を合わせて未来の牧野地域を担う人材育成に一生懸命取り組んでいきます。

保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

運動会 9/3(日)

秋を感じさせるさわやかな風の吹く中、「OVER THE TOP ～限界を超えて～」のテーマのもと、第48回運動会が行われ、赤(天狗)団と黄(駿暉)団に別れて熱戦が繰り広げられました。

競技に、応援に、係活動に、全力で取り組む生徒の姿を見ていただけたと思います。

保護者の方々はもちろん、地域の方々も多数応援に駆け付けてくださり、本当に感謝しております。



学校評価の結果について

7月の「学校評価アンケート」（中間評価）には、お忙しい中、ご協力をいただきありがとうございました。

今年度は重点目標を「目標に向かって努力を続けるしなやかな強さと他を大切にするやさしさをもつ生徒の育成」とし、具体的な達成目標を「学習面」と「生活面」から下記のように設定し、取り組んできました。生徒や保護者のみなさまのアンケート結果から、達成状況や今後の課題をまとめました。

具体的な達成目標

※数値は生徒の肯定的評価の割合を示します

○進んで学習に取り組む生徒

- | | 目標 |
|---------------------------------|-----|
| ① 授業では互いの考えを出し合い、議論することができる。・・・ | 80% |
| ② 毎日きまった場所で、きまった時刻に家庭学習をする。・・・ | 70% |

○時と場に応じた行動ができる生徒

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ③ 時と場に応じたあいさつや言葉遣いをする。・・・ | 90% |
| ④ 校舎や地域への感謝の気持ちを込めて清掃する。・・・ | 95% |
| ⑤ 気持ちを込めて、大きな声で歌うことができる。・・・ | 95% |

① 授業では互いの考えを出し合い、議論することができる

「授業では、自分の考えをしっかりと持ち、友達に伝えることができる」（質問7）と答えた生徒は、1年生は59%、2年生は62%、3年生は80%、全校生徒では67%でした。学年が上がるほど、自分の考えをもち、それを他者に伝え、議論しながら考えを深めていく様子が見られました。まだまだ目標には達していないので、2学期以降はさらに授業の中で考えを出し合い、議論する場面を作っていこうと考えています。

② 毎日きまった場所で、きまった時刻に家庭学習をする

「学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」（質問8）では、全校生徒の96%が毎日1時間以上は勉強すると答えました。しかし、2時間以上勉強すると答えた生徒は全校生徒の46%と、急激に数値が下がってしまいました。また保護者への質問で、「あなたのお子さんは、家庭学習の習慣を身に付けている」（質問4）と答えた方は全体の61%でした。このことから、家庭学習の習慣が十分に身に付いている生徒の割合は、まだまだ目標の数値に達しているとは言えないことがわかりました。今後も宿題や予習・復習などの自主学習の仕方について、学年や教科の指導内容に応じてきめ細やかな対応をする必要があると考えています。

③ 時と場に応じたあいさつや言葉遣いをする

④ 校舎や地域への感謝の気持ちを込めて清掃する

⑤ 気持ちを込めて、大きな声で歌うことができる

「先生や友達に心を込めてあいさつをしている」（質問11）と答えた生徒は全体の92%。「清掃活動に進んで取り組んでいる」（質問12）と答えた生徒は全体の95%、「授業や行事などで、大きな声で気持ちを込めて歌っている」（質問13）と答えた生徒は全体の90%でした。いずれも目標としている数値以上、もしくはそれに近い数値でした。2学期は1学期以上に学校行事も多く、保護者のみなさまや地域の方々が来校される機会が多くなります。今後も一層「時と場に応じた行動ができる生徒」の育成を目指して取り組んでいきます。

保護者のみなさまには、指導に際して配慮すべきことや、貴重なご意見もいただきました。今後にかかしていきたいと考えております。ありがとうございました。

全校生徒と保護者のアンケートの結果は、裏面に掲載してあります。なお、学年ごとの結果は「各学年だより」にて掲載して、お知らせします。ぜひ、ご覧ください。